

平成15年10月29日
南海放送株式会社

国際宇宙ステーションを利用した第5回宇宙授業について

南海放送株式会社は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共同で、第5回宇宙授業を、下記のとおり実施します。

宇宙授業はこれまで JAXA（当時は宇宙開発事業団）が4回（平成13年6月、11月、平成14年9月、平成15年7月）実施してきました。今回の宇宙授業は、前回に引き続き、国際宇宙ステーションにある日本実験棟「きぼう」利用の一環で、教育目的の「イベント公募」枠に南海放送が企画提案したものが採用され、実施されるものです。

記

主 催：南海放送株式会社 / 宇宙航空研究開発機構

協 賛：松山市教育委員会

日 時：平成15年11月25日（火）午後5時～7時（予定）

（内、宇宙飛行士との交信は約20分間）

会 場：南海放送 本町会館（愛媛県松山市本町1-1-1）

参加者募集：松山市内の小学生の親子250組500名を募集します。参加者の中から数名の子どもたちが国際宇宙ステーションに滞在中の宇宙飛行士と直接交信します。

応募方法については、南海放送のテレビ・ラジオ告知スポット、ならびにホームページ、携帯電話サイトをご覧ください。

募集期間：平成15年11月1日（土）～14日（金）（予定）の期間中、南海放送のラジオ、テレビの番組内でイベント告知および参加者を公募します。

（ラジオ、テレビ募集告知スポットも上記期間と同じ）

南海放送 HP の URL：<http://www.rnb.co.jp>

軌道上対応宇宙飛行士（添付 1 参照）:

NASA 宇宙飛行士 マイケル・フォール

ロシア宇宙飛行士 アレクサンダー・カレリ

（上記 2 名は、2003 年 10 月 20 日から国際宇宙ステーションに長期滞在
中の宇宙飛行士）

会場対応宇宙飛行士（添付 2 参照）:

JAXA 宇宙飛行士 星出 彰彦

内 容：会場参加者の中から数名の子どもたちが、国際宇宙ステーション搭乗中の宇宙飛行士とライブ交信します。子どもたちが軌道上の宇宙飛行士に質問し、宇宙飛行士はそれに答えます。また会場では星出宇宙飛行士がトークセッションの中で、国際宇宙ステーションや宇宙についてわかりやすく説明し、子どもたちからの質問にも答えます。交信の様を含めた特別番組を、12 月に南海放送テレビで放送する予定です。また、本宇宙授業の実施に先立ち、松山市内で展示交流イベントなどを実施する予定です。

問い合わせ先：

- 本イベントの企画・実施および参加者募集について
南海放送(株) 創立 50 周年記念事業局
TEL：089-927-7113

以上

マイケル・フォール (Michael Foale)

ISS コマンダー

宇宙物理学博士

1957 年 1 月 6 日イギリス生まれ。イギリス、ケンブリッジ出身。

1988 年に宇宙飛行士候補者となる。

ロシアのミール宇宙ステーション滞在を含め 5 回の飛行を経験し、
宇宙滞在 168 日、3 回の船外活動を経験。

1992 年に STS-45(ATLAS-1)、1993 年に STS-56 (ATLAS-2)

1995 年にはミールとランデブーした STS-63 (SPACEHAB-3)

1997 年 5 月から 9 月まで 4 ヶ月強の期間ミールに滞在、

1999 年に STS-103 (ハッブル宇宙望遠鏡修理の 3 回目の飛行) で飛行。

今回は 6 回目の飛行。



アレクサンダー・カレリ (Alexander Kaleri)

RSC エネルギア社のテスト宇宙飛行士

1956 年 5 月 13 日ラトビア生まれ。

1984 年 4 月に RSC エネルギア宇宙飛行士候補として選択される。

1985 年から 1986 年の間、ガガーリン宇宙飛行士訓練センターで
基礎訓練を受け 1987 年にテスト宇宙飛行士となる。

1992 年 3 月 17 日から 8 月 10 日までミール宇宙ステーションに
145 日間滞在し、2 回の船外活動を行う。

1996 年 8 月 17 日から 1997 年 3 月 2 日までミール宇宙ステーション
に 197 日間滞在した。

2000 年 4 月 4 日から 6 月 16 日までミール宇宙ステーションに滞在した。

宇宙滞在記録 416 日間、4 回の船外活動経験がある。



星出 彰彦（ほしで あきひこ）

宇宙航空研究開発機構 宇宙飛行士

1968 年、東京都生まれ。

1992 年 3 月慶應義塾大学工学部機械工学科卒業。

1997 年 12 月 UNIVERSITY OF HOUSTON CULLEN COLLEGE
OF ENGINEERING 航空宇宙工学 修士課程修了。



1992 年 4 月から NASDA（現 JAXA）に勤務し、1994 年までの 2 年間、名古屋駐在員事務所において、H- ロケットなどの開発・監督業務に従事。1994 年～1999 年、筑波宇宙センターや NASA ジョンソン宇宙センターなどにおいて、宇宙飛行士訓練計画の開発支援や実験装置の人間機械系設計評価支援および、若田宇宙飛行士の搭乗した STS-72 スペースシャトルミッションなどの支援等、宇宙飛行士の技術支援業務に従事した。

1999 年 2 月に、NASDA（現 JAXA）より国際宇宙ステーション(ISS)に搭乗する日本人宇宙飛行士の候補者として、古川 聡、角野 直子とともに選抜される。

1999 年 4 月から NASDA（現 JAXA）が実施する日本人宇宙ステーション宇宙飛行士の基礎訓練に参加、同訓練修了後、2001 年 1 月宇宙飛行士として認定される。